

第 85 回 中央メーデー

働く者の声を聞け 安倍首相に怒りの声

(東京地連)

2014年4月26日 第85回中央メーデーが東京代々木公園で開かれました。

「力合わせよう！心つなげよう！みんなの暮らしの底上げ実現のために」をスローガンにかかげ、4月26日、第85回メーデー中央大会が東京代々木公園で開かれました。



会場となった代々木公園には全体で約4万人が参加し、全自交東京地連も320名が参加しました。式典では、主催者を代表して古賀連合会長は「本年のメーデーは、労働者保護ルールの改悪にストップをかけるべく、「STOP THE 格差社会、暮らしの底上げ実現キャンペーン」の一環として位置づけ、全国で特別決議を採択することになっている。



働く者の声をしっかり受けとめ、いま、政治がやるべきことは何か熟慮していただきたいとの考えから、広く各政党にお声がけさせていただいた」と挨拶があり、続いて政府を代表し、安倍晋三内閣総理大臣の来賓挨拶には会場から怒りの声がわき上がりました。

引き続き労働行政を代表し、田村憲久厚生労働大臣は、「全員参加型社会を築く必要がある。労使の意向を踏まえ、取り組みを進めていきたい。」と述べました。また、本中央大



会を後援する東京都を代表し、前田信弘副知事、続いて、民主党、日本維新の会、公明党、みんなの党、結いの党、生活の党、社会民主党、新党大地、新党改革より来賓挨拶が行われました。

その後、尾上浩二 DPI 日本会議事務局長から“NGO・NPO 連帯挨拶”、福田瑞代ひまわりユニオン執行委員長から“非正規労働者からの訴え”、八巻由美自治労福島県本部特別執行委員から“東日本大震災被災地からのアピール

が行われ、それぞれの立場から、団結と連帯を通じ、「働くことを軸とする安心社会」を実現していく必要性を訴えました。

最後に神津実行委員会事務局長（連合事務局長）の提案による「すべての働く仲間が結集し、力を合わせ、心をつなげて、「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」をめざす。そして、志を同じくするすべての仲間との団結と連帯で、「働くことを軸とする安心社会」を実現するとする「メーデー宣言」ならびに、畠山薫連合中央執行委員の提案による「今こそ、すべての働く者の連帯で、働くことを軸とする安心社会」への道筋を切り拓こうとする「労働者保護ルールの改悪に断固反対する特別決議」を満場の拍手で採択され、氏家実行委員長代行（連合会長代行）による「がんばろう三唱」で式典が締めくくられました。